

特定非営利活動法人 国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

2019年60号(令和1年7月)

剣志

KEN SHI

発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール nakamichi3303@outlook.jp

夏嵐 れ上の白紙 飛び尽くす

正岡 子規

一点の 偽りもなく 青田あり

山口 誓子

九州梅雨明け夏本番、7月24日に九州北部、南部に梅雨明けが発表され、日本全国猛暑に見舞われている。7月24日～29日まで福岡市東区の照葉積水ハウスアリーナで全国の高校剣士たちの熱い戦い「玉竜旗高校剣道大会」が開催されました。全国より女子384チーム、男子520チームの頂点を目指し勝ち抜き戦が繰り広げられました。

当、九州地区クラブの7月の例会は7月20日、恒例の久留米温泉道場にて尾方正照先生、野口慎一郎先生、池田純洋先生、山田雅士先生を迎えて開催しました。参加者は26名でした。

加野会長の挨拶より始まり、最初の30分間は会員同士の「相互稽古」、後の1時間は4名の八段の先生方が元立ちに立たれての「指導稽古」を行いました。終了の太鼓がなるまで8段の先生方からの熱心な御指導をして頂きました。

稽古会の最後に尾方正照先生(範士八段)より8月にある6段、7段、8段審査の心構えのご指導を受けました。



稽古会

日時：令和元年7月20日(土) Pm3:00～Pm4:30

場所：久留米温泉道場(湯の坂道場)

【稽古会出席者：26名】 (順不同、敬称略)

尾方 正照先生、野口 慎一郎先生、池田 純洋先生、山田 雅士先生、(当地区8段の先生4名)、加野 資典(会長)

下林 千代鬼	田中 義勝	佐藤 博喜	溝口 勝正	秋山 勝年	奥村 國弘
園田 智弘	大塚 勝也	小川 邦昭	澤木 孝明	澤木 直子	堀江 藤樹
平 嘉和	田中 昭彦	西田 耕陽	西見 秀俊	福田 博文	大和 竹史
渡邊 寛二	古庄 輝雄	中道 政生			



「加野会長の挨拶」



《連絡事項》

- i 現在、年会費の振込をお願いしておりますが未だ未納の方は、早急に振込をお願い致します。(年会費の改定がっておりますので、ご確認の上振込をお願いします)
- ii 経費削減のため、パソコンのメールアドレスをお持ちの方は以前より登録をお願いしているところです。今後メール会員を増やしていきたいと考えています。メールアドレスをお持ちの方は [eメール nakamichi3303@outlook.jp](mailto:nakamichi3303@outlook.jp) にメールして下さい。
※パソコンでのメールアドレスに限ります。スマホのアドレスには会報等送れませんのでご了承

承下さい。

iii 国際社会人剣道クラブに名札が必要な方は佐藤幹事長に申込お願いします。(3,875円)

11月の全国例会の試合に参加される先生方は必ずご準備下さるようお願い致します。

令和1年8月例会のご案内

稽古会

日時：令和1年8月17日(土) Pm3:00~Pm4:30

場所：久留米温泉道場(湯の坂道場)※稽古後入浴可

久留米市野中町湯の坂1235番地 ☎0942(33)4126



※遠方からご参加される先生方は交通事故等に十分注意されて下さい

令和元年度(2019年度)の「玉竜旗高校剣道大会」で女子384チームの頂点に立ったのは「中村学園女子高校」

男子520チームの頂点に立ったのは

「福岡第一高校」で共に九州勢。

高校剣士にとっては「玉竜旗高校剣道大会」は高校総体の剣道大会と並ぶ全国規模の剣道大会です。

今回、玉竜旗高校剣道大会の審判長の大役は

九州地区クラブの「尾方正照先生(範士八段)」がされました。

大変お疲れ様でした。

九州地区クラブの会員一同、今大会が無事に終了しましたことを大変喜んでおります。



尾方先生大変お疲れ様でした。

新入会員紹介

今回、当国際社会人剣道九州地区クラブに入会
されました「堀江藤樹先生」を紹介します。

堀江先生は福岡県内でも屈指の進学校である

「明善高校」を卒業され「明治大学」に進まれてあります。

現在は久留米市内で運送会社を経営されて、毎週日曜日
は久留米武道館で少年剣道教室のご指導をされてあります。

堀江先生より頂いた寄稿をそのまま掲載しています。



昭和 40 年に久留米市で生まれ（現在 54 歳）、小学 2 年生の時に久留米雄心館に入門、中附徳次先生に
手ほどきを受け、5 年生から久留米剣道教室にも参加、緒方寅男先生から指導を受けました。地元の明
善高校に進み、威張るほどの戦歴はなく、玉竜旗大会では、1 勝もできず、しかも 2 年連続 5 人抜きさ
れるという青春に汚点を残しました。この悪夢が、いまだに剣道が続けている原動力なのかもしれませ
ん。卒業後、浪人を経て明治大学に入学。平成元年に、(株)西日本新聞社に入社、剣道に縁があり、玉竜
旗大会の担当として運営に携わりました。15 年に退社し、妻の実家の家業である運送会社に入り、現在
に至ります。

45 歳の時に、8 回目でやっと七段に合格、早いもので、あと 2 年ほどで、八段の受験資格がやってきま
す。昨年、久留米アリーナが完成し、職場から車で 3 分と、最高の稽古環境が整いました。大学時代の
森島健男師範がお話しされていた「一本にならない打ちは、無駄打ち」この言葉を実践すべく、年間
200 回の稽古を目標に、仕事との両立に取り組んでおります。これから、機会がございましたら、よろ
しく稽古お願い致します。

堀江 藤樹

